

さぬき生活文化振興財団助成

千と一夜のサーカス in 塩江 報告書



SETOUCHI
CIRCUS
FACTORY

瀬戸内サーカスファクトリー



日時：2021年11月21日（日）

12時半～ 2階「ビブリオ・シルク（サーカス図書館）」

代表・田中未知子のお話（15分）

13時～ 体育館「Shionoeサーカス」（40分）空中芸、シルホイール、一輪車

サーカスアーティストの話（10分）

主催 一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー

助成 一般財団法人さぬき生活文化振興財団（2021年度ことづくり生活助成金）

「千と一夜のサーカス」2021 in 塩江

本事業の意義及び目的

現代サーカスを通じて「地域とともに新しい文化をつくる」活動を続ける瀬戸内サーカスファクトリー。2019年から2年間、香川県の助成を受けた「YonaYonaサーカス」では、さらに「地域をつなげる」ネットワークづくりに取り組みました。2021年からは、県の助成金がなくても徐々に自立して地域と協力して事業を展開できる仕組みを立ち上げ、発展形としての「千と一夜のサーカス」を開始します。県内数カ所のパートナーと組んで、創作、公演、関連事業を行う取り組みです。生活文化振興助成金では、この中の塩江会場の実施につきまして、助成申請をいたしました。

塩江町上西地区は奥座敷と呼ばれる塩江は過疎化が進む地域であり、住民からも現代サーカスを通じた私たちの活動の関わりが望まれています。民間団体である私たちにとって、収益構造が極めてつくりにくい場所で継続的活動を行うのは非常に難しい現実がありながら、人的交流や友情にもとづく関係性を築いてきた上西地区になんとか関わり続ける方法を模索しています。損得では測れない意義により、当地の活性化のために貢献したいという思いで実施しています。

経緯

塩江町上西地区は奥座敷と呼ばれる塩江は過疎化が進む地域であり、住民からも現代サーカスを通じた私たちの活動の関わりが望まれています。民間団体である私たちにとって、収益構造が極めてつくりにくい場所で継続的活動を行うのは非常に難しい現実がありながら、人的交流や友情にもとづく関係性を築いてきた上西地区になんとか関わり続ける方法を模索しています。損得では測れない意義により、当地の活性化のために貢献したいという思いで実施しています。

実施に際し、事前に住民の皆様と打ち合わせを重ね、本来ならば広く声かけをしてできるだけ多くの方々に塩江町上西地区にお集まりいただきたいところでしたが、高齢化が著しく、医療へのアクセスが容易でない方々も多い中、新型コロナの影響を懸念する声もまだ大きく、今回は普段からよく活動を知っている方々との再会や親交を深めること、文化的楽しみの少ない現状のなかで日頃からサーカスを応援している人たちに元気を届けることなどを主眼に実施することに決めました。ゆえに、広報は上西地区住民とその家族、塩江のなかでもすでにサーカスを知っていて応援したい人々を中心に、回覧板や口コミ、町内放送などで行われました。

開催日も、皆様が集まりやすい塩江クリーンナップの日に合わせ、清掃作業終了後そのまま「千と一夜のサーカス」2021 in 塩江に参加いただける流れを作りました。

成果

参集人数は、サーカス図書館オープンでの代表・田中未知子の講話に20人程度、昼食会は密にならないように分散して1回10人程度で合計30人程度、サーカス公演には50人程度が参加。人数は限られていたものの「これからもよろしくな」「がんばってや」などの応援の言葉や、公演には「素晴らしかった」「良いものを見させてもらった」などの声、終演後にはアーティストと住民の質疑応答時間も設け、コロナ下初期の2020年に上西で練習をつづけられた吉田亜希さんから感謝の言葉や、北海道から参加した岡部莉奈さんのプロとしての決意などが伝えられ、双方向の交流ができたと感じました。

また、高松市創造都市推進局長夫妻や地域振興課職員の方々も参加され、さめき生活文化振興財団様の支援によりこの事業が開催できていることを改めて伝えました。

当日配布物

瀬戸内サーカスファクトリー 「千と一夜のサーカス」2021 in 塩江



日時：2021年11月21日（日）

12時半～ 2階「ビブリオ・シルク（サーカス図書館）」代表・田中未知子のお話（15分）

13時～ 体育館「Shionoeサーカス」（40分）空中芸、シルホイール、一輪車
サーカスアーティストの話（10分）

主催 一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー

助成 一般財団法人さぬき生活文化振興財団（2021年度ことづくり生活助成金）

<出演サーカスパフォーマー>

吉田 亜希（よしだ・あき） <エアリアル>

2019年より香川県に移住。幼少より大学卒業まで体操競技に青春を注ぎ込みその後、エンタメの世界へ進む。エアリアルとともにダンス、演劇等の様々な身体表現を学んだ。活動は国内外で浜崎あゆみ、郷ひろみ等のアーティストライブ、国民文化祭、万博、演劇舞台、文楽舞台、TV,CM,MVやBrand party。MGMcotaiレジデンスエアリアルリスト、La Vigneフランスツアー、フィンランドx日本交流プロジェクトフィンランド派遣アーティストとして渡芬など幅広く、シルク・ドゥ・ソレイユ登録アーティスト。インストラクターやコレオグラファーとしても活動。2020-21年度瀬戸内サーカスファクトリー・アソシエイト・アーティスト。



野瀬山瑞希（のせやま・みずき） <ダンス・シルホイール>

新潟県出身。幼少の頃よりクラシックバレエを始め、高校卒業後ABC-Tokyoバレエ団へ所属。その後、舞台芸術の学校(P.A.I)へ一年間入所。これまでに西島数博、キミホ・ハルバート、Tarinof dance company、遠藤康行、小池博史、安藤洋子、珍しいキノコ舞踊団等の作品や、芝居や朗読・即興パフォーマンス等様々な活動を行う。現在は香川に拠点を移し現代サーカスへも視野を広げ、ダンスのジャンルを越えた表現を模索している。瀬戸内サーカスファクトリーの2020-21年アソシエイト・アーティスト。



岡部莉奈（おかべ・りな） <一輪車>

一輪車アーティスト。小学2年生の時、一輪車演技に魅了され一輪車の世界へ。大学時代に現代サーカスと出会い、表現者としての一輪車活動を始める。主な出演は、2016～2018年空知遊覧、2018年越後妻有大地の芸術祭「フィル・ド・ココン」（瀬戸内サーカスファクトリー）、青森県立美術館 舞台芸術企画アレコ2018などである。一方で、全日本一輪車競技大会や一輪車国際大会Unicon19への出場を経て、一輪車団体UCフロンティア札幌の監督も務める。一輪車競技の開拓と表現として生きる一輪車を目指し北海道を中心に活動をしている。



パフォーマンス練習

イベント前日には、会場となる
上西小体育館内にサーカス器具を
設営し、稽古に励みました！



2016年ごろから定期的に
通い、住民のみなさまに仲良くして
いただいています。
2019年にはコロナ下でも、
プロアーティストの吉田亜希さんが
この体育館で練習を続けられました。
感謝の気持ちは尽きません。
当日には、地元のお母さんたちの
作った、心尽くしのお弁当（手製の
そばとともに）をいただきます。



サーカス図書館 Biblio Cirque In 塩江オープン！

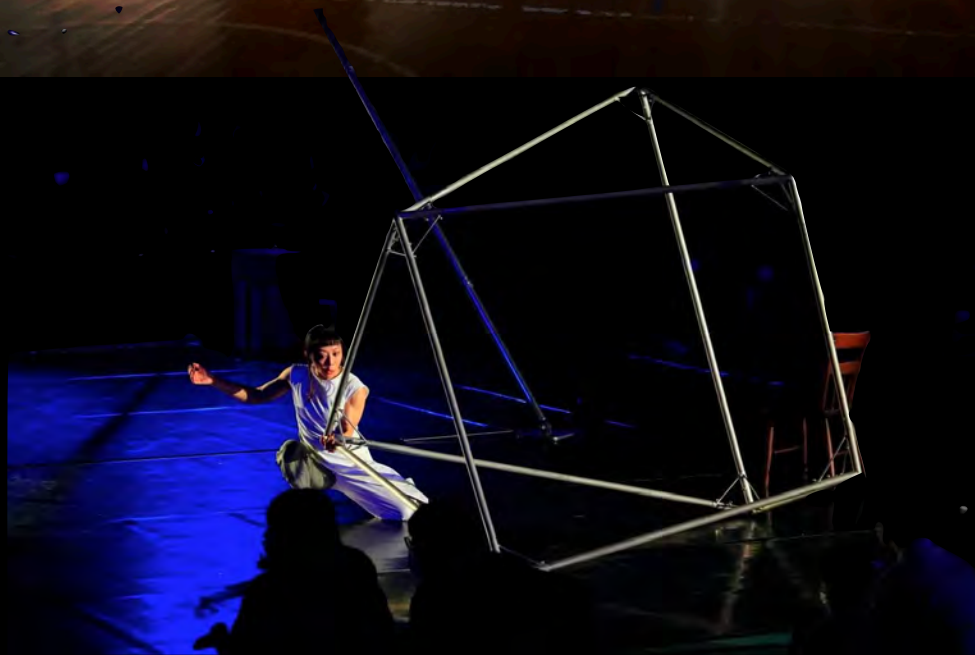
上西小学校跡施設

2階にサーカス図書館をオープン。

住民お披露目も同日に実施しました！



国内有数のサーカス・大道芸の蔵書数を誇るサーカス図書館。
瀬戸内サーカスファクトリーの過去のポスター展示や
貴重な国内外のサーカスフェス資料なども見ることができます。



サーカスパフォーマンス披露

エアリアルアーティストの吉田亜希さんはティシューと呼ばれる空中芸と、野瀬山瑞希さんはシルホイールとクラシックバレエの経験を生かしつつコンテンポラリーに仕上げたダンス、そして若手で北海道出身の一輪車アーティストの岡部莉奈さんは、日本にまだないコンテンポラリーな創作的一輪車の演技を披露。事前に三豊で何日も稽古し、3人の息のあった舞台となりました。訪れた50人ほどの住民のみなさんは、感嘆の声や拍手を惜しみなく送ってくださいました。